

「出題の意図」

選抜区分	平成 31 年度 （選抜区分：一般選抜前期日程） 文学部 人間関係学科 （科目名：小論文）
出題の意図 (評価のポイント)	<p>1. 出題の背景・求める能力</p> <p>【出題の背景】</p> <p>今回の小論文では、最近、マスコミでもしばしば取りあげられるスポーツにおける体罰をテーマとした。問題文として 3 つの文献から引用した文章を提示し、出題した。文章 1 は、為末大著『スポーツにおける体罰の背景—根絶に向けて取り組めること』（心理学ワールド, 77 号, 2017 年), 文章 2 は、Bonnie G. Berger 他著 『Foundations of Exercise Psychology second edition』（Fitness Information Technology A Division of the International Center for Performance Excellence, 2007), 文章 3 は、玉木正之著『スポーツ解体新書』（日本放送出版協会, 2003）からそれぞれ一部を抜粋した。文章 1 では、スポーツにおける体罰が行われる理由と止められない理由について論述している。文章 2 では、スポーツを行うにあたっての動機を考察し、それを内発的動機付けと外発的動機付けに区分して、内発的動機付けの優位性を説いている。文章 3 では、スポーツは「遊びの文化」として発展したことを述べている。</p> <p>【求める能力】</p> <p>今回の出題では、これらの文章を読み内容を理解したうえで、それらを論理的に結びつけて小論文として自分の考えを述べることを求めている。</p> <p>問 1 は、文章 1 を読んで、スポーツにおいて体罰が行われる理由となくならない理由について、要点をまとめる問題である。文章 1 では、これらの理由について、いくつかの理由が説明されている。それらのうち、適切な理由を取り上げて、限られた字数の中で論理的にまとめられるかが重要なポイントである。</p> <p>問 2 は、文章 2 を読んで、スポーツの内発的動機付けとは何か、また外発的動機付けに対してどのように優れているか説明する問題である。英文の読解力と要約する能力が求められる。</p> <p>問 3 は、文章 1, 2, 3 を読んで、体罰問題を克服し、スポーツをする人とみる人が、スポーツを楽しめるようにするにはどうすればよいかを、提示されたキーワードを用いて、小論文にまとめる問題である。3 つの文章を良く理解し、キーワードを論理的に結びつけて議論を展開し、自分の考えを他者に的確に伝えられる文章が書けるかが試される。</p> <p>2. 解説(解法)</p> <p>問 1 : 文章 1 では、体罰の問題についていくつかの理由が示されている</p>

が、それらのうち、体罰が行われる理由として、選手本人が体罰を受けることによって、自分を奮い立たせてトレーニングをすることができたと考えることがある点（本文3 ページ16 行目）が大きな理由として指摘されている。また、体罰がなくならないのは、閉鎖的で強いヒエラルキーがあるなどの課題をかかえる、スポーツの組織の問題が大きいと述べられている（この点についてはいくつかのところで触れられているが、主に、本文2 ページ31 行目以降）。これらの点を論理的に記述できている解答を高く評価する。

問2：第1 段落に内発的動機付けの説明がある。また、内発的動機付けが、外発的動機付けに対してどのように優れているかは、第2 段落で説明されている。これらの部分の英文を的確に読み取って、他者に分かりやすい文章で要約できている解答を高く評価する。

問3：この問題では、提示されている5 つのキーワードを用いて自分の考えを論述することを求めている。これらのキーワードは、3 つの問題文の中で説明されているので、キーワードを軸に問題文の内容を良く理解して、小論文のなかに論理的に取り込むことが必要である。問題文がどの程度正しく理解され、小論文のなかで論理的に扱われているか、また、自分の考えがしっかりした根拠をもとに主張できているかが、評価のポイントである。さらに、他者に分かりやすく説得力のある文章であるか、誤字脱字はないかという点も評価の対象になる。